

## EA770F-1(COガステスターの検知管)について



### 1. 適用

EA770F(COガステスター)の検知管は空気中または検査対象ガス中の一酸化炭素を検知するのに使われます。

・測定範囲…0.001~0.03% 0.01~0.3%

### 2. ガステスター

CO含有量のテストをするのにストロークカウンターがついているEA770Fを使って下さい。

EA770Fの取説を見て下さい。

検知試験管のCOテストの必要かつ重要な情報は全てガステスターの取説に表示されています。

### 3. 表示の原則

保護層(茶):クロム酸塩、イオウ酸性物試薬により、混入してきた物質を酸化する層

表示層(白):一酸化炭素を酸化する層

混入してくるガスと蒸気は保護層で保持されます。

一酸化炭素があると表示層は次第に帯状に茶色から緑色に変色します。

着色の長さは一酸化炭素が集まっている量です。刻まれている目盛で読み取ることができます。

### 4. 一酸化炭素の表示は、例えば空気温度が-10℃から90℃の間で、相対湿度10~90%内では影響されません。

炭化水素(プロパン、エチレン、ベンゼンそしてそれらに相応するもの)

と同様に水素硫化物は不純物として混入しません。これらの混入してくる物質は保護層で吸収されます。水蒸気は、これらの不純物进行处理するための保護層の能力を低下させます。

もし、水素やエタンが0.1%(1ストローク)、0.01%(10ストローク)以上の濃さで存在

するならば、検知管は明確な長さは形作らずに表示層全ての色を変えます。

濃さが低い場合は変色が遅くなるので、COの表示をすぐに読み取るようにして下さい。

メタン、二酸化イオウ、二酸化窒素、二酸化炭素は影響しません。

注:数値はサンプルが選ばれた場所や時間にしかあてはまりません。

時間や場所の変化によって濃さが異なる可能性があるので(例 ガスの煙)サンプルプランを立てて下さい。

### 5. 測定精度

相対基準誤差は

10mm以上の着色:±5%から±10%

10mm以下の着色:±10%から±20%

### 6. 保存期間

COガステスターの試験管がパッケージに入ったままで(日光があたっていない状態で)温度が0℃~30℃で保管される場合は、3年間もちます。

パッケージに有効期限が記されていますので見て下さい。

### 7. 安全に関するアドバイス

COガステスターの検知管は苛性化学製品を含んでいます。

皮膚の接触を避けて下さい。